



### 不安を抱えておくことができるかどうか。

相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充



思春期の脳は、ストレス耐性という点で大人の脳とだいぶ違うことがわかっています。脳科学者の中野信子さんによると、ストレスを受けて脳内で分泌されるホルモンが大人では不安を抑えるブレーキの役割を果たすのに、思春期の脳は逆にアクセルとなって不安を増幅させてしまうのだそうです。よって、何か不安なことがあるとその不安がより大きく感じられてしまったりうまく対処できず、これじゃこの先もうまくやっっていけないと容易に悲観してしまうのです。もちろん大人と違って経験値がありませんから、初めての不安に打ちのめされてしまうこともあるでしょう。ただ、時々生徒と話をしていて私が思うことは、不安をゼロにすることに躍起になって、不安を自分の中に抱えておくことがまだできないんだなあということです。私たち大人も、悩みやストレスが全くないという人はまずいません。何かしら悩みやストレス

を抱えながらも、毎日仕事をしたり家事をしたり、日常生活をどうにか続行させています。思春期の強迫性ゆえか、悩みやストレスが少しでもあると、それにどう立ち向かうかというよりも、そこから逃れることで悩みやストレスをなかったこととしてしまおうと考える傾向もあるようです。不安だから勉強する、同じ失敗を繰り返さないように備えをするなど、不安は辛い気持ちとセットではあるけれども自分の力を伸ばす原動力にもなりうるのだということを忘れずにいたいものです。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

生徒支援室 電話024 (956) 8852  
分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐)  
電話024 (956) 8850

## 新任教職員紹介

### 新任教員



**大久保 孝洋**【国語科】  
おおくほ たかひろ  
綺麗な校舎、最新の設備の中で皆さんと一緒に授業ができることが大変光栄です。現代文の楽しさ、古典の面白さを皆さんに伝えていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



**大木 哲男**【数学科】  
おおき てつお  
4月からこちらでお世話になっております。1年、2年の数学を担当します。楽しくやりましょう。学問に王道なし。毎日コツコツ。



**小椋タチアーナ**【英語科】  
おぐら  
4月から英会話の授業を担当することになりました。皆さんが英会話を楽しんでくれるように頑張ります。どうぞよろしくお願致します。



**亀田 大暉**【数学科】  
かめだ ひろき  
日本大学東北高等学校の皆さんと共に学ぶ機会が得られたことを心から嬉しく思います。



**坂本 由宇子**【英語科】  
さかもと ゆうこ  
2年ぶりに日大東北に戻ってきました。「謙虚に、丁寧に」がモットーです。よろしくお願いたします。



**佐藤 完太**【地歴公民科】  
さとう かんた  
私は日大東北高校の卒業生です。かつてお世話になった先生方と、素晴らしい環境の中で教壇に立てること、とても嬉しく思います。生徒たちとともに、私自身も成長できるように、日々自己研鑽に励みたいと思います。よろしくお願いたします。



**神保 明子**【英語科】  
しんぼ あきこ  
もう一度高校生になった気分で勉強したいと思っています。一緒に学びましょう。



**須山 堯**【数学科】  
すやま たかし  
皆さんこんにちは！本年度からよろしくお願いいたします。1、2年生の数学を担当させていただきます。楽しい授業展開を心がけてまいります。一緒に充実した学校生活を送りましょう！



**竹田 正彦**【地歴公民科】  
たけだ まさひこ  
桜の花が咲き誇る春爛漫の今、伝統ある日大東北高校に赴任出来たことを光栄に思っております。皆さんと共に学び共に人生を謳歌したいと思います。



**千葉 敦司**【数学科】  
ちば かつし  
3月に大学を卒業し、今年度から教員となりました。不慣れな所が多く御迷惑をおかけすることがありますが一生涯懸命頑張ります。皆様と一緒に成長していきますので1年間よろしくお願いたします。



**平栗 文章**【英語科】  
ひらくり ふみあき  
日大東北の生徒への英検二次対策をぜひやりたいと思っています。生徒の皆さんは、遠慮せず声をかけてください。



**若杉 理沙**【情報科】  
わかすぎ りさ  
4月から情報を担当している若杉理沙です。母校である東北高校の先生になれたことを嬉しく思います。新校舎で皆さんと一緒に授業が出来ることに喜びと期待でいっぱいです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

### 異動職員



**渡辺 元気**【数学科】  
わたなべ げんき  
母校である日大東北高校で授業ができることをうれしく思います。数学の魅力を伝えられるよう頑張っていきます！どうぞよろしくお願いたします。



**佐藤 貴士**【事務課】  
さとう たかし  
2016年5月から2021年7月  
勤続年数5年2か月  
工学部庶務課へ



**泰 雅**【事務課】  
はら たかし  
7月に工学部から異動してきました。何かありましたらなんでも相談してください。これからよろしくお願いたします。

## 令和3年度のスタートに当たり

学校長 佐々木 稔



青色のネクタイ・リボンの529人の新入生を迎え、令和3年度がスタートしました。新型コロナウイルスの感染対策には、依然として十分な注意が必要な状況であることから、今年度の入学式も各教室で行い、SAKURAホールでの式典の様子を、教室および保護者控室のプロジェクターに配信する形で行いました。新入生の皆さんと直接対面できない入学式は、どことなく寂しい感じであることは否めませんが、次世代の教育に備え、各教室にライブ配信が可能となる環境を整えておいたことは、本当に良かったと新校舎の絶大な教育的効果を実感したところでした。

さて、今年は1年間延期となった「東京オリンピック」がいよいよ開催されます。聖火がみつめる各競技場には、この夏、数々の世界記録と、勝利を讃えあうアスリートたちの「笑顔」、そして「感動」と「涙」が生まれることでしょう。

日本の首都東京で、世界のオリンピックが開催されるわけですから、本来ならばもっと開催に向けての機運が高まるべきところ、新型コロナウイルスの感染拡大防止の立場から、各地の聖火リレーも現地観覧が制限され、リモート視聴が推奨されるなど、歓喜の声は抑えられ、開催の是非を問う議論となり、夕刻の報道はもっぱら、本日の感染者数、緊急事態宣言の発令、ワクチン接種の動向の話題となり、そしてとうとう、このオリンピック

は、「無観客」での開催となってしまいました。このような事態は、東京オリンピック開催が決まったときには、誰にも予想ができないことでした。

学校もこれに似た事情があり、基本的には多くの生徒が集まり、様々な学校行事や部活動を通して、喜びをわかちあひ人間的な成長を育む場である以上、学校生活において人との接触を完全に避けることはできません。それができたら、むしろ学校は「学校」ではなくなってしまいます。そのような状況の中で、できる限りの対策をし、生徒の安全・安心を守り、今までとは異なる学校生活のスタイルの中から、生徒一人ひとりが「この学校に学んで本当に良かった」と実感できる3年間をどこまで用意してあげられるかどうか。学校は今、新たな役割を担うことになりました。

本誌114号は、このコロナ禍の中、さまざまな制約を強いられつつも、「対策をして楽しむ日大東北」という本年度の努力目標のもとに展開された、1学期の学校生活や部活動の記録です。どうかこれをご高覧いただき、躍動する本校生徒の成長の姿を、今後とも応援していただければ幸いです。



部活動作品紹介 写真部3年 佐々木 諄和 (小塩江中出身) (撮影場所: 郡山市布引高原)

4  
Apr

- 5日 入学式
- 6日 始業式
- 21日 基礎学力到達度テスト(1・2年)
- 22日 基礎学力到達度テスト(3年)

6  
Jun

- 1日 衣替え 全校集会
- 9日~11日 歯科検診
- 12日 学級懇談会
- 17日 献血
- 19日 数検
- 20日 漢検

5  
May

- 6日 全校集会 生徒総会
- 10日・14日・17日 健康診断
- 19日 シェイクアウト訓練
- 24日~27日 1学期中間試験
- 30日 英検
- 31日~6月19日 教育実習

7  
Jul

- 6日~9日 1学期期末試験
- 15日・16日 アカシヤ祭(学内公開)
- 20日 1学期終業式  
インターハイ壮行会

TOPICS

第71回  
入学式



第71回 入学式 新入生代表宣誓

新しく芽吹いた花の香りが、暖かな春風に運ばれてくる頃に、私達529名は本日、無事に日本大学東北高等学校に入学することができました。例年と異なると思いますが、このような入学式を挙げていただき、誠にありがとうございます。私達の義務教育は東日本大震災から始まり、新型コロナウイルス感染症で幕を閉じました。これから始まる高校生活でも、たくさんの困難があると思いますが、今までに修得したことを存分に活かし、邁進してまいります。本校の校訓である忠恕の心を第一に考え、仲間と自主創造をして、勉学、部活動、アカシヤ祭などの行事に真剣力行していきます。最後に、私達の自立を静かに見守ってくださっている家族に感謝するとともに、何に對してもひた向きに努力していくことを約束し、誓いの言葉とします。

令和3年4月5日

日本大学東北高等学校 令和3年度 新入生代表総代  
加藤 まの (石川義塾中出身)



各教室でのLIVE放送の様子



保護者の教室

4/5

TOPICS

各種行事

令和2年度3学年保護者会より  
寄付金をいただきました。

令和2年度3学年保護者会を代表して名木剛範様より寄付金をいただきました。

生徒会を代表して沼田紗季さん(小原田中出身)が受け取り、感謝の言葉を述べました。



英検準1級合格

3年11組 祓川 純風 (緑ヶ丘中出身)

私の1日は、いつもEMINEMのTill Collapseで始まる。この度の英検準1級取得は、小学校の時から聞き始めたラップミュージックやラジオ講座によるところが大きい。



いわゆる英検対策の学習には1か月程度取り組み、リーディングやリスニングについては2年分の過去問を解いた。特に力を注いだのは、英作文であり、作文に有用な単語やフレーズを覚え、スタイルに重きを置いて書く練習を重ね、15/16点を取るに至った。スピーキングについては動画投稿サイトを利用し、本番を意識して声に出して繰り返し練習した。

前述したように、英語力を身につけるためには、日々英語に触れることが肝要であると考え。今後も英語を楽しむことを継続し、将来は英語を使ってクリエイティブな仕事をしたいと考えている。

5/6

生徒総会

各クラスLive配信にて、生徒総会が実施されました。タブレットで総会資料を配布し、令和2年度生徒会活動報告や令和3年度生徒会費予算審議などが話し合われました。また、演劇愛好会が演劇部への昇格も決まりました。



4/6

対面式・着任式・始業式

各クラスLive配信にて、対面式・着任式・始業式が行われました。対面式では、新入生代表橋本歩美さん(西田学園出身)が高校生活の抱負を述べ、生徒会長常松尊さん(鏡石中出身)と挨拶を交わしました。



着任式では、着任される先生より挨拶をいただきました。最後に、始業式が行われ校長先生、教務部主任、生活指導部主任の講話がありました。

1学期中間試験を終えて

1年6組 村上 竜也 (小野中出身)

高校生になって初めてのテストを終えて、2つの反省点があります。

1つ目は、計画通りにテスト勉強が出来なかったことです。答えを振り返ってみて、応用問題が出来ていなかったため、次のテストでは計画通り勉強し高得点を狙います。もうひとつは、ケアレスミスが多かったことです。特に数学で多く、高得点が取れなくてとても悔しかったです。次回は、最後の一秒まで諦めず見直しを繰り返します。



この2つの反省点を改善し、次の期末試験では高得点を狙いたいです。

演劇愛好会が演劇部に昇格。

本校演劇愛好会は文化祭のステージ演出や、学校行事における照明なども担っていた時期もありましたが、その長い歴史を全て愛好会という位置づけのまま活動してきました。本校の歴史上、最長の「愛好会」であることは間違いありません。先日来校した、お笑いコンビたんぽぽの白鳥さんにまで、「まだ愛好会なのか!」と言われておりましたが、念願であった部昇格を果たし、やっと卒業生に胸を張って報告できるようになりました。今後は演劇部として、長い歴史に恥じないよう頑張ります。



6/17

献血への協力

147名の申し込みがあり、134名の生徒が献血に協力しました。



# TOPICS

## 令和3年度 後援会・桜蕾会の 新役員決まる & 各種行事

### 令和3年度 後援会・桜蕾会の新役員

令和3年度 後援会役員名			
名誉会長	佐々木 稔 (校長)		
会長	菅野 泰助 (3年5組)		
副会長	有我 庸平 (3年12組)	宗像 俊樹 (2年3組)	
	菊地 大介 (1年8組)	渡邊 弘幸 (教頭)	
会計	永崎 貴宏 (2年2組) 秦 雅 (職員)		
監事	矢吹 忍 (1年3組)	鈴木 秀典 (1年7組)	
	佐藤 睦浩 (教諭)		
桜蕾会幹事長	早田 宗弘 (教諭)		
庶務	猪山 勝弘 (職員)		

1 学年委員			
工藤みどり (1組)	石井 隆士 (1組)	桐生奈津子 (2組)	
塚田亜津美 (2組)	森山 栄子 (3組)	村上 恵美 (4組)	
山口久美恵 (4組)	深谷 直子 (5組)	塩澤 恵美 (6組)	
古川 裕利 (7組)	菊地 大介 (8組)	宮尾 隆司 (8組)	
佐藤 涼子 (9組)	芳賀 美樹 (10組)	大竹智亜理 (11組)	
西村 修一 (12組)	山田 満憲 (13組)		

2 学年委員			
佐藤 重昭 (1組)	加瀬 裕子 (2組)	新藤 恭子 (2組)	
永崎 貴宏 (2組)	宗像 俊樹 (3組)	渡邊 香 (3組)	
市川 由里 (4組)	榊原 純子 (5組)	松本 美喜 (5組)	
上原 千文 (6組)	芳賀 知美 (6組)	赤松 幹也 (7組)	
高橋 秀和 (8組)	石井 良子 (9組)	沼田 美紀 (10組)	
水野 透 (11組)	高橋 尚恵 (11組)	先崎 勝人 (12組)	
相樂 秀博 (12組)	青戸美智子 (13組)		

### 日本大学附属高等学校特待生・日本大学東北高等学校奨学生 日本大学東北高等学校桜蕾会奨学生(体育)決定

日本大学附属高等学校特待生			
2 学年	清水 彩乃 (8組)	小松 莉子 (12組)	
3 学年	小林 萌恵 (4組)	先崎 友輝 (12組)	

日本大学東北高等学校奨学生			
第1種	1 学年	小林 颯太 (3組)	井下 浩貴 (4組)
		小室 陽詩 (6組)	菊地 瑛介 (8組)
		大竹 宏武 (11組)	菊池 真緒 (11組)
		鈴木 夏海 (11組)	前原 詩 (11組)
		沼田 星那 (12組)	山田あいら (13組)
		草野 陽琉 (2組)	佐藤 海 (3組)
	2 学年	村上 凜奈 (5組)	熊谷 帆高 (9組)
		鈴木 叶 (12組)	香西 凜明 (13組)
		山田 泰誠 (13組)	
		松川 侑矢 (1組)	中張 亜美 (4組)
		降矢 華 (6組)	原口 紗葉 (7組)
		高橋 明花 (9組)	芥川 結奏 (11組)
3 学年	榎本 朱莉 (13組)		
	馬場 優斗 (1組)		
第3種	3 学年	馬場 優斗 (1組)	

3 学年委員			
村田 和之 (1組)	柳沼 慶子 (1組)	高田 哲也 (2組)	
新妻 明子 (2組)	梶山かおり (3組)	高野 珠美 (3組)	
金子 愛子 (4組)	小林 千穂 (4組)	菅野 泰助 (5組)	
内田 由希 (5組)	加藤 由香 (5組)	幕田 宙晃 (6組)	
本田 誠子 (6組)	水野めぐみ (6組)	橋本 州榮 (7組)	
浜津 京子 (7組)	斑目 美穂 (8組)	西坂 リサ (8組)	
佐久間久美 (9組)	杉本 千秋 (9組)	石井 菊美 (10組)	
小針 敦子 (10組)	伊藤 文枝 (11組)	福元 智子 (11組)	
久井美由紀 (12組)	松本新太郎 (12組)	有我 庸平 (12組)	
佐藤 幸子 (13組)	今泉 経子 (13組)		

	委員長	副委員長
1 学年	石井 隆士 (1組)	深谷 直子 (5組) 大竹智亜理 (11組) 山田 満憲 (13組)
2 学年	水野 透 (11組)	榊原 純子 (5組) 赤松 幹也 (7組) 高橋 尚恵 (11組)
3 学年	幕田 宙晃 (6組)	村田 和之 (1組) 橋本 州榮 (7組) 松本新太郎 (12組)

後援会・桜蕾会役員			
庶務	猪山 勝弘		
会計	秦 雅		
監事	佐藤 睦浩		
委員	小野信太郎	花里 昌昭	村上 辰実
	向田 祐樹	土屋 秀夫	高須 章光
	石川 高遠	和泉 賢一	久能 朋弘
	秋山 浩樹	田崎 智春	成瀬 鮎見
	高橋 敏行	大野 明美	齊藤 克敏
	小池 純一	川野 貴光	芥川 敦
	鈴木 典行	松崎 一寿	早田 宗弘
	有馬 理恵	菅野 理	細谷麻衣子
	佐藤 尚希	伊東 伸泰	

桜蕾会幹事			
幹事長	早田 宗弘		
幹事	小野信太郎	猪山 勝弘	和泉 賢一
	芥川 敦	向田 祐樹	秦 雅
	小池 純一	鈴木 典行	花里 昌昭
	高須 章光	松崎 一寿	

日本大学東北高等学校桜蕾会奨学生 (体育)				
野球部	9名	3 学年	久納 海 (1組) 小針 淳郎 (10組)	
		2 学年	白石 大葵 (1組) 奈須 優翔 (1組) 佐藤 蒼士 (8組)	
		1 学年	朝倉 七星 (1組) 馬場 真大 (1組) 堀米 翔太 (1組) 堀米 涼太 (1組)	
	陸上競技部	8名	3 学年	寺門 嵐士 (1組) 町田 怜央 (1組)
			2 学年	田中 凜葵 (1組) 根本 穂波 (1組) 橋本 羽奈 (1組)
			1 学年	曲山 純平 (1組) 三宅 花音 (1組) 箭内 洸斗 (1組)
バスケット ボール部	6名	3 学年	坂内 侑介 (1組)	
		2 学年	猪狩 圭 (1組) 大河原 蓮 (1組) 根本 明武 (1組)	
		1 学年	鈴木 拓磨 (1組) 棚木 成伊 (1組)	
相撲部	4名	3 学年	大越 昂 (1組) 近内 要 (1組)	
		1 学年	工藤 礼暖 (1組) 佐藤 悠佑 (1組)	

# TOPICS

## 令和3年度 教育実習 & 各種行事

5月31日から6月19日(土)の3週間にわたり、17名の教育実習が行われました。実習を通じて様々なことを学び、17名がそれぞれ成長し、無事実習を終えることができました。

### 教育実習を通じて

「おはようございます。」  
緊張で手も声も震えた挨拶から始まった教育実習は、有意義で大変実りある3週間でした。高校二年生の頃から漠然と教員を目指し、やっとの思いで迎えられた教育実習は、私にとって始まる前から思い入れの強いものでした。  
私が実習前に掲げた目標は「初心を忘れないこと」「理想の教師像」「生徒目線」の3項目であり、「勉強になった」で終わる実習ではなく「生徒に何を残せたか」「最後に生徒からどんな言葉をかけてもらえるか」を意識して臨もうと決めていました。  
ところが、実際に実習が始まり授業を担当すると、上記の3



### 出身学部の紹介と、在校生への言葉

**田中 界渡 (日本大学工学部情報工学科)**  
私は日本大学工学部情報工学科に所属しています。工学部は工学技術が社会と環境に及ぼす影響を理解することにより、高い倫理観をもって調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献できる人間性豊かな技術者を養成しています。そして6つの学科があり、例えば、私の所属している情報工学科はプログラミング、ネットワーク、計算機システム、情報処理などの基礎技術を修得し、問題を論理的に分析し目標の実現を図る論理的思考能力と実務処理能力を身につけることができる人材を養成しています。ぜひ興味のある方は調べてみてください。  
最後に在校生の皆さん、日本大学は様々な学部、学科があります。日本大学の附属高校という利点を生かして自分の行きたい分野に進めるように勉学に励んでください！



**田村 純 (東北大学文学部人文社会学科)**  
東北大には、学部の垣根を超えた分野の授業を学生に履修させる制度があります。これにはどのような意味があるのでしょうか？  
まず、幅広く学問を修めることは、自身の専門知識を補強することに直結します。例えば文学研究をするには、文学だけでなく、社会学や歴史学などにも精通する必要があります。これは他の学部にも当てはまることで、様々な学問を理解することは、大学で学ぶ上で非常に重要です。  
また、この制度は新しい学問との出会いの場としても機能します。沢山の学びに触れる中で、「これだ！」と考える学問を知る機会が与えられているのです。  
このように、学びたいことが決まっている方にとっては勿論、明確には決まってない方にとっても東北大は親切な大学です。皆さんの志望校の選択肢の一つに加えて貰えればと思います。





## 日本大学付属高等学校等 基礎学力到達度テスト(4月)結果から

日本大学への進学を希望する付属高校生は、在学中の学業成績及び「日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト」(1・2年は年に1回、3年のみ年2回実施)の結果と、面接・小論文などの総合判定により、各学部から入学が許可されます。

今回の成績結果を一昨年(昨年度は未実施)と比較すると、他の付属高校と中位層から上位層にかけて開きがみられました。その要因の一つに、大学の定員厳格化による上位校や中堅校の難化や、先行きが不透明な大学入試により、大学の付属高校に人気が集まっていることがあげられるのではないのでしょうか。特に、首都圏の日本大学の付属高校では、幅広い選択肢のある日本大学への進学を見据えて、従来よりも上位層が入学している傾向が顕著に表れています。

さて、生徒の皆さんは成績個人票を受け取り、付属高校全体の中での自分の位置を確認したと思いますが、さらに上位を目指して取り組むことで、難関学科への進学の道も開かれていくはずで。そのためには、これからの夏休み期間を含め、地道に基礎を積み重ねながら学習の習慣化を図っていくことが重要となります。

近年、偏差値だけではなく、様々な特色や取り組み、就職率、卒業生の社会的な活躍などから大学が評価されるようになってきています。本校との高大連携が進んでいる工学部では、4年連続で就職率100%(就職希望者)を達成しました。昨年度の求人数は約13,000社、県内だけではなく首都圏の大手企業からの求人も多く、まさに郡山から日本全国、そして世界へと開かれた伝統が脈々と受け継がれていると言えるでしょう。日本大学の卒業生が様々な分野で逞しく活躍していること、それが皆さんの人生に大きなアドバンテージとなっていくはずで。



## 2021年度大学入試結果 国公立大合格47名 東北大学2名・北海道大学2名(現役生)合格

2021年度入試のIIコースの大学合格状況をお知らせ致します。

国公立大学には現役生43名と既卒生4名の計47名が合格しました。また私立大学には、早稲田大学(1名)、明治大学(3名)、立教大学(3名)、青山学院大学(1名)、中央大学(4名)などの合格が報告されています。

68期生の大学受験は、高大接続改革をめぐる混乱と新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄されました。が、その厳しい状況下において4年ぶりに40名を超える生徒が国公立大学に現役合格。東北大学や北海道大学といった難関大にも複数の合格者を輩出することができました。

30年続いた大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストは、2回目の緊急事態宣言下で行われました。知識偏重を脱して思考力・判断力・表現力を深く問うと謳われたため難化することが予想されましたが、平均点は意外にも高得点となりました。視界の晴れない混迷する入試状況下、これまでの経験則が通用しないのではないかと不安のなかであって、生徒たちは浮足立つことなく2次試験対策講座や個別指導にも意欲的に参加し、教室や自学室なども積極的に利用して最後の最後まで諦めずに粘り抜きました。厳しい判定値からみごと逆転合格を果たした生徒も多く、最後まで諦めない逞しさ、「チーム細谷(IIコース3学年担任団)」の底力を見せてくれました。

### 国公立大学合格者数

※短期大学含む

北海道大	2	東北大	2	宮城教育大	1	秋田大	2
山形大	2(1)	福島大	14	宇都宮大	2	茨城大	1
埼玉大	2(1)	新潟大	5(1)	秋田県立大	2	福島県立医科大	4
会津大	3(1)	富山県立大	1	都留文科大	3	長野大	1
岩手県立盛岡短大	1	会津大短大部	1	大月短大	1	( )内、既卒生	



## 今年度の指導目標とお願い

### 今年度の指導目標

今年度の生活指導部は、以下の項目を指導目標としています。

- 1 自立心・自律意識の育成 2 安全教育の徹底 3 人権の尊重

「2 安全教育の徹底」と「3 人権の尊重」は、昨年度からの継続ですが、「1 自立心・自律意識の育成」は今年度からの新しい目標になります。高校生活の3年間で二つの「ジリツ」を見つけて欲しいと考えています。一つ目は他に依存することなく、自ら考えて行動することが出来るようになる「自立」。二つ目は責任ある行動ができる「自律」です。身だしなみ向上週間などの活動を通して、二つの「ジリツ」の育成に努めていきます。

### 交通事故

令和2年度の交通事故は31件でした。令和元年度は41件だったので、事故件数は減少していますが、市内の高校でも件数は多い方です。幸いなことに、重大なものはなくかすり傷程度の軽症ですんでいます。事故の内容は自転車と車の接触事故が多く、現場検証に立ち会うと、半数は自転車側にも過失が認められます。交通法規の厳守、モラルを心がけた走行が必要です。4月に全校生に「緊急時対応マニュアル」を配布いたしました。四つ折りで財布等に入れておけるもので、被害者・加害者の対場で事故時に行うべきことが書かれています。ご家庭でも確認し、生徒へのご指導をお願いいたします。

### 自家用車での送迎

新型コロナウイルスへの不安からか、昨年度より自家用車での生徒送迎が増えています。新校舎の外構工事も終了したため、校内の道路状況は良くなりましたが、雨天時と土曜日は送迎数が特に多く、日大通りの渋滞を招くとともに、徒歩・自転車通学の生徒と交差して危険もあります。南門を登校時に開放して、正門付近の混雑の解消を図るとともに、正門脇の教員用駐車場を混雑時には空けて対応しています。また土曜日の下校時駐車場に停めきれない時は、誘導に従い遠方になりますが、グラウンド周辺への駐車をお願いすることもあります。ご協力をお願いします。

## 学 年 だ よ り

### 将来像の探求を

1学年主任 松崎 一寿



今年度、私たち1学年会は新入生の目標を「将来像の探求と育成」としております。

まず、正しい情報から知識を得ることで、自分の目標としている将来像の確立を図ってほしいと思います。まだまだ自分の将来を考えられていないお子さまが多いと思います。この夏休みの期間で、正しい「職業に対する情報」を収集し知識を得ることで、目の前にある「文系・理系」の選択を、保護者の方と一緒に考えていただきたいと思います。夏休みの課題の中に『キャリア自由研究』があり、夏休み明けに『壁新聞作成』という企画があります。職業のことや、その職業に就くために何を学ぶべきかを調べて発表しあうイベントになりますので、この企画も上手に活用してほしいです。

また、将来の目標設定が定まり、進みたい進路が決まったとしても、それに伴う学力も必要になります。今から受験勉強というわけではなく、1学期の復習を中心に、課題や進学補習に取り組んでほしいです。9月2日にIコースは模擬試験、IIコースは成果テストがあります。夏休みの期間はこのテストに向けて、学習活動を行うよう、保護者の方からも声掛けをお願いいたします。

夏休みで生活リズムが崩れる生徒も少なくないです。保護者の方には、お子さまの起きる時間、寝る時間、食事をとる時間など、日ごろの生活と夏休み期間の生活が、あまり差の無いように管理していただきたいです。生徒たち自身が管理できることが理想ですが、最初のうちは保護者の方から気にかけていただくことがベストだと考えます。また、日ごろの会話の中で、何か学校生活で気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

学年

# 学年だより

## 夏休みの行動が次に生きてくる

2学年主任 鈴木 典行



2学年に進級し、3か月が過ぎました。お子さまは新しいクラスでよいスタートを切ることができたでしょうか。学校生活では少しずつ学校の中心として活躍することが求められるようになってきています。お子さまにはぜひ意欲的に学校生活を送ってほしいと考えています。

さて、進級後すぐに日本大学付属推薦入試の「基礎学力到達度テスト」が実施されました。本校の平均点は、過去の本校生徒と比較するとほとんど変わらない状況でしたが、他の付属高校の生徒と比較すると少し差をつけられてしまいました。しかし、まだ全体の20%が決まっただけです。今後の頑張り次第で最終的な結果を変えていくことは十分に可能です。

では、最終的な結果を変えるために、すべきことは何なのでしょう。まず大切なのは何のために学習をしているのかを理解すること、言葉を変えると将来の目標を明確に

することです。学習する目的は進学するためではなく、進学した先でさらに学ぶため、そして将来社会に何らかの形で貢献するためではないでしょうか。ですので、自分は将来何がしたいのか、何を社会貢献したいのかを明確にしてほしいと思います。次に大切なことは、継続的な学習です。継続的な学習とは定期試験等に関係なく毎日行う学習のことを言います。短時間でもいいので、毎日積み重ねたこと、そして積み重ねた時間が力になります。自分で決めたことを毎日確実にやっているかが重要です。例えばイチロー選手は高校時代最低10分の素振りを365日行っていたそうです。その努力の結果、イチロー選手が高校卒業後、どんな活躍をしたかは周知のとおりです。成果を出すために必要なことは大きなことをするのではなく、小さなことをコツコツ継続することなのです。ですので、お子さまには試験結果等を参考に自分がやるべきことは何なのかを考え、毎日取り組んでほしいと思います。

まもなく夏季休業が始まります。自由な時間が比較のあるこの夏は自分を成長させるチャンスです。ぜひ有意義な時間を過ごして下さい。

## ～活躍する3年生～

学外の活動で活躍する3年生を紹介します。

## 「魅力あふれる福島の食と農業」



3年12組 加茂 葵 (郡山ザベリオ中出身)

皆さんは、福島県を人に紹介するとき何を紹介しますか。

私は、自分が生まれ育った福島のために、何かできることをしたいと思い、高校1年生の冬から「高校生が伝えるふくしま食べる通信」という情報誌の発行を通じて、福島の食や農業の魅力年全国に広める活動に参加していました。この活動は、原発事故による「食」や「農業」の風評をなくしたいという当時の一人の高校生の志から2015年に始まりました。高校生有志が県内の様々な生産者さん取材し、その思いを20ページにまとめた情報誌を年4回、全国600名ほどの読者さんたちに届けています。

原始的な農業からスマート農業まで、あらゆる手法がある現代の農業。実際に稲を手刈りで刈った時は、農作業のあまりのハードさに驚かされ、生産現場の苦労を知りました。取材を通して作物の裏側を知ると、それまで以上に生産者の方にも作物にもありがたさを感じるとともに、福島



県の「農業」の可能性を感じずにはいられません。

私がお会いした生産者さんたちは、風評被害をネガティブに捉えず、むしろバネにしながら前進されている方ばかりです。おいしさは勿論、時代に合わせて多様に変化する術を見つけ、さらに社会全体を見据え、自分がどう貢献できるかを追求していらっしゃいました。「日本の食料自給率を上げるにはどうすべきか」「若者の就農者を増やすために農業にも働き方の多様性を」など、生産物を作るだけでなく、次世代へつなぐ道まで見据えておられたことが強く印象に残っています。

この活動を通じて気付いたことがあります。福島県が仮に「福島国」で、もし鎖国を行っても、米や野菜や果物、海のものから山のものまで、他の地域に頼らずにすべて揃うほどに福島は食や魅力に溢れている、と。そんな発想に至ったのも、学校だけでは学べない社会問題について、同世代の高校生や生産者の方とともに深く考え合い、私たちなりの答えを導くことができた経験があったことなのです。

「福島県の食農はすごい。」福島県を五感で感じることで、これまで気付くことのなかった視点に出会うことができ、食べ物や生産者さんへの感謝をより一層強く感じる時間でした。



矢吹町にて2020年10月

# クラブ活動の記録

県大会については3位以上を記載  
東北大会については入賞者、全国大会については出場者を記載 ( ) は出身中

## 第9回 福島県7人制ラグビーフットボール大会 兼 第8回全国高校7人制ラグビーフットボール大会

### ラグビー部 [4/23~4/24]

ベスト4 児玉 爽詩 (東郷郡田村) 野口 一步輝 (大 越) 力丸 翔太 (守 山) 谷口 博秀 (郡山五) 円谷 圭汰 (白河中央) 野口 敬吾 (緑ヶ丘) 円谷 浩太 (須賀川一) 大塚 日翔 (棚 倉) 濱津 遥希 (守 山) 有馬 健太 (郡山六) 遠藤 和彦 (西田学園) 市川 大貴 (郡山二) 齊藤 翔 (富 田) 北村 優空 (大 槻) 長谷川大樹 (安積二) 円谷 壮 (須賀川三) 小林 優太 (逢 瀬) 柳沼 康生 (郡山六) 松野 光真 (郡山一)

## 第38回福島県春季シングルステニス選手権大会(ジュニアの部18歳以下)

### 硬式テニス部 [会津総合運動公園テニスコート: 4/24~4/25]

女子シングルス 3位 横田 碧衣 (郡山七)

## 第67回福島県高等学校体育大会(インターハイ県大会)

### 体操部 [あづま総合運動公園: 5/29~5/30]

男子団体 2位 白石 陽希 (喜久田) 榎田 吾郎 (郡山三) 古川 空琉 (郡山三)  
女子団体 2位 加藤妃香莉 (郡山六) 栗山 紗果 (郡山五) 本田 彩乃 (郡山四) 渡辺 華梨 (郡山二) 大和田歩華 (緑ヶ丘)

### 相撲部 [福島市国体記念体育館相撲場: 6/5~6/6]

団体 優勝 大越 昂 (大 槻) 近内 要 (大 槻) 工藤 心暖 (坂 下) 工藤 礼暖 (坂 下) 佐藤慎之助 (坂 下) 佐藤 悠佑 (蓬 萊)  
個人無差別 優勝 大越 昂 (大 槻) 2位 工藤 心暖 (坂 下)  
100キロ以上 優勝 大越 昂 (大 槻) 2位 佐藤 悠佑 (蓬 萊)  
100キロ未満 優勝 近内 要 (大 槻) 2位 工藤 礼暖 (坂 下) 3位 佐藤慎之助 (坂 下)

### 硬式テニス部 [郡山庭球場・牡丹台庭球場・福島空港公園テニスコート: 6/5~6/7]

男子団体戦 3位 佐藤 祐也 (鶴ヶ岡) 鈴木 和陸 (郡山五) 酒井 有弥 (郡山五) 浜津 和久 (郡山一) 石川 真悟 (郡山五)  
女子団体戦 3位 横田 結衣 (郡山七) 村上 凜奈 (郡山六) 渡辺 里奈 (郡山五) 横田 碧衣 (郡山七) 大平凜々子 (郡山六)  
女子シングルス 2位 横田 碧衣 (郡山七)  
女子ダブルス 2位 横田 結衣 (郡山七) 横田 碧衣 (郡山七)

## 陸上競技部 [いわき陸上競技場: 5/28~5/31]

男子総合 優勝  
男子トラック 優勝  
男子フィールド 優勝  
女子総合 優勝  
女子トラック 準優勝  
女子フィールド 準優勝  
男子200m 優勝 齊藤 慧舟 (白河二)  
男子400m 優勝 町田 怜央 (白河二)  
男子400mH 優勝 町田 怜央 (白河二)  
男子4x100mリレー 2位 佐藤 武蔵 (若松四) 星 友哉 (白河二) 寺門 嵐士 (白河中央) 町田 怜央 (白河二)  
男子4x400mリレー 優勝 佐藤 唯 (白河中央) 齊藤 慧舟 (白河二) 馬場 優斗 (若松二) 町田 怜央 (白河二)  
男子走り幅跳び 優勝 曲山 純平 (鶴ヶ岡)  
男子円盤投げ 優勝 遠藤 新 (本宮二)  
男子8種競技 優勝 三瓶 祐紀 (郡山二)  
女子4x100mリレー 優勝 増子はる菜 (西田学園) 田中 凜葵 (郡山一) 橋本 羽奈 (郡山四) 荒木 美幸 (若松一)  
女子200m 優勝 橋本 羽奈 (郡山四)  
女子400m 優勝 橋本 羽奈 (郡山四)  
女子砲丸投げ 優勝 根本 穂波 (小 野)  
女子円盤投げ 優勝 石井のどか (西田学園)  
女子やり投げ 優勝 根本 穂波 (小 野)  
男子走高跳 2位 高橋 光貴 (白河中央)  
男子砲丸投げ 2位 渡邊 悠正 (原町一)  
女子4x400mリレー 2位 加藤 杏実 (富 田) 穂積 美晴 (白河二) 郡司 采美 (郡山一) 橋本 羽奈 (郡山四)  
男子砲丸投げ 3位 関根 和哉 (本宮二)  
女子走り高跳び 3位 三宅 花音 (郡山四)

## ライフル射撃部 [二本松総合射撃場: 6/6]

ARS60MJ 優勝 熊坂 紘平 (安積二)  
BRS60MJ 優勝 熊坂 紘平 (安積二) 2位 赤松 昌 (郡山ザベリオ学園) 3位 猪狩 来騎 (大 越)  
BRS60WJ 優勝 橋本 青依 (郡山二) 2位 石川 光琉 (群馬県 毛里田) 3位 澤井亜美花 (須賀川二)  
BP60MJ 優勝 菱沼 創太 (安積二) 2位 平井 煌太 (郡山五)  
BP60WJ 優勝 橋本 青依 (郡山二)

## 馬術競技 [南相馬市馬事公苑: 5/8~5/9]

貸与馬中級障害飛越競技 3位 秋葉 大地 (山形県上市市立北)

2 学年

3 学年

県大会については3位以上を記載、東北大会については入賞者、全国大会については出場者を記載 ( )は出身中

水泳部 [あいづ水泳場・郡山カルチャーパーク：6/18～6/21、6/30]

- 女子総合 3位  
 女子100m背泳ぎ 優勝 原田 桜羽 (喜久田)  
 2位 渡邊 寧来 (仁井田)  
 女子200m背泳ぎ 2位 渡邊 寧来 (仁井田)  
 女子200mバタフライ 2位 芳賀 恵莉 (須賀川一)  
 女子800mリレー 3位  
 原田 桜羽 (喜久田) 渡邊 寧来 (仁井田)  
 芳賀 恵莉 (須賀川一) 紙尾 香帆 (郡山六)  
 女子400mメドレーリレー 2位  
 渡邊 寧来 (仁井田) 紙尾 香帆 (郡山六)  
 芳賀 恵莉 (須賀川一) 原田 桜羽 (喜久田)  
 女子学校対抗(飛込) 優勝  
 女子高飛込 優勝 西川 炎歩 (安積)  
 女子3M飛板飛込 優勝 西川 炎歩 (安積)

第74回福島県総合体育大会体操競技

体操競技部 [あづま総合体育館：5/29～5/30]

- 男子団体 2位 白石 陽希 (喜久田) 榎田 吾郎 (郡山三)  
 古川 空琉 (郡山三)  
 女子団体 2位 加藤妃香莉 (郡山六) 栗山 紗果 (郡山五)  
 本田 彩乃 (郡山四)  
 渡辺 華梨 (郡山二) 大和田歩華 (緑ヶ丘)

第74回東北高等学校陸上競技大会

陸上競技部 [北上総合運動公園陸上競技場：6/19～6/22]

- 男子100m 5位 佐藤 武蔵 (若松四)  
 男子200m 3位 齋藤 慧舟 (白河二)  
 男子400m 優勝 町田 怜央 (白河二)  
 男子400mH 2位 町田 怜央 (白河二)  
 男子4×100m 優勝 佐藤 武蔵 (若松四) 齋藤 慧舟 (白河二)  
 星 友哉 (白河二) 町田 怜央 (白河二)  
 男子4×400m 優勝(大会新記録)  
 佐藤 唯 (白河中央) 齋藤 慧舟 (白河二)  
 馬場 優斗 (若松二) 町田 怜央 (白河二)  
 八種競技 2位 三瓶 祐紀 (郡山二)  
 女子200m 3位 橋本 羽奈 (郡山四)  
 女子4×100m 4位 増子はる菜 (西田学園) 田中 凜葵 (郡山一)  
 橋本 羽奈 (郡山四) 荒木 美幸 (若松一)  
 女子走高跳 3位 三宅 花音 (郡山四)  
 女子砲丸投 4位 根本 穂波 (小野)  
 女子やり投げ 3位 根本 穂波 (小野)

第41回東北高等学校馬術選手権大会

馬術競技 [南相馬市馬事公園：6/12～6/13]

- 馬術競技(個人) 優勝 秋葉 大地 (山形県上市市立北)

第37回U20日本陸上競技選手権大会

陸上競技部 [大阪府ヤンマースタジアム長居：6/24～6/27]

8位 町田 怜央 (白河二)

令和3年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場者

相撲部 [新潟県糸魚川市民体育館：8/6～8/8]

- 団体 大越 昂 (大槻) 近内 要 (大槻)  
 工藤 心暖 (坂下) 佐藤慎之助 (坂下)  
 佐藤 悠佑 (蓬萊)  
 個人選手権 大越 昂 (大槻) 工藤 心暖 (坂下)  
 100kg未満級 近内 要 (大槻)

硬式テニス部 [松本市浅間温泉庭球公園：8/5～8/8]

女子シングルス 横田 碧衣 (郡山七)

陸上競技部 [福井県宮陸上競技場：7/28～7/31]

- 男子100m 佐藤 武蔵 (若松四)  
 男子200m 齋藤 慧舟 (白河二)  
 男子400m 町田 怜央 (白河二)  
 男子400mH 町田 怜央 (白河二)  
 八種競技 三瓶 祐紀 (郡山二)  
 男子4×100mR 佐藤 武蔵 (若松四) 齋藤 慧舟 (白河二)  
 星 友哉 (白河二) 町田 怜央 (白河二)  
 寺門 嵐土 (白河中央) 芳賀 秀哉 (郡山六)  
 男子4×400mR 佐藤 唯 (白河中央) 齋藤 慧舟 (白河二)  
 馬場 優斗 (若松二) 町田 怜央 (白河二)  
 菊池 聖真 (矢祭) 箭内 気吹 (本宮一)  
 女子200m 橋本 羽奈 (郡山四)  
 女子走高跳 三宅 花音 (郡山四)  
 女子砲丸投 根本 穂波 (小野)  
 女子やり投 根本 穂波 (小野)  
 女子4×100mR 増子はる菜 (西田学園) 田中 凜葵 (郡山一)  
 荒木 美幸 (若松一) 郡司 采美 (郡山一)  
 穂積 美晴 (白河二) 佐藤 悠 (郡山四)

第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部 [広島県つがライフル射撃場：8/8～8/11]

- AR60MJ 熊坂 紘平 (安積二)  
 BR60MJ 赤松 昌 (郡山ザベリオ学園)  
 BR60MJ 猪狩 来騎 (大越)  
 BR60WJ 橋本 青依 (郡山二)  
 BR60WJ 石川 光流 (群馬県毛里田)  
 BR60WJ 澤井亜美花 (須賀川二)  
 BR60WJ 神野 雅 (二本松二)  
 BR60WJ 加藤 彩季 (郡山五)  
 女子BR団体

第32回全日本高等学校馬術選手権

馬術競技 [ノーザンホースパーク：8/11～8/12]

- 馬術(個人) 秋葉 大地 (山形県上市市立北)



相撲部

U20全国大会に出場した陸上競技部 町田君



陸上競技部



馬術競技 秋葉君



体操部



ラグビー部



ライフル射撃部



硬式テニス部



硬式テニス部